



謹賀新年

HPアドレスを変更しました。
<http://uchida-chemical.com>



全国にひとりでも多くの菊づくり仲間ができますように



南砺市菊まつりより

明けましておめでとうございます

菊は日本の秋を代表する花のひとつです。春の桜とともに、昔から慣れ親しんできたなじみ深い花です。

中国原産の花で、奈良時代の中期に伝来したと考えられています。

伝来初期は不老長寿の花として人気があり、血圧を下げたり、胃腸の働きをよくしたり、目の疲れがとれるなどの薬効があり、大切にされてきました。

やがて平安時代になると、貴族や武士など上層社会の人達の間で、観賞用として栽培されるようになりました。

江戸時代には園芸ブームに乗り大きく花ひらき、育種や栽培方法など著しく発展し、大菊厚物、管物、美濃菊、奥州菊、嵯峨菊、江戸菊など、次々に新しい花型やめずらしい菊が作出されました。

江戸時代の中期になると菊人形が始められ、栽培法も多様化され、現在の菊づくりの体系が出来上がりました。

現在各地で開催されているような菊花展も開催されるようになりました。そして30センチの大輪も現れるようになり、江戸末期には「一尺三寸」約40センチの花もあったと記されております。

最近の研究ではキクの花びらには、「発ガンを抑えたり、悪玉コレステロールを抑えるなど、薬効成分が含まれている」こともわかってきました。

その他、菊づくりに於いては、「考える」「指先を使う」「仲間が得意笑いが増える」など健康増進に大いに役立っているとも言われています。

さらに菊づくりは伝統を守り、次世代に継承されるものと考えています。

菊はガーデニングの中で最も親しまれている花で、切花生産の約40%を占めています。

こうしてみると日本人は「菊が好き」で、嫌いな人はあまりいないと思われます。

「菊づくりは楽しいものです」考える程難しいものでもありません。種類も多く、づくり方も多様です。

知人、友人を菊づくりの仲間にお誘いし、菊談義に花を咲かせるのも楽しいものと考えます。

新しい年を迎えるにあたり全国にひとりでも多くの菊づくり仲間ができますように。また今年もよい花が咲きますように心よりお祈り申し上げます。

平成三十年 一月

ウチダケミカルコーポレイション

代表取締役 内田義一

社員一同